

# 観光立国推進基本計画の見直し

---

平成23年1月17日

# 観光立国推進基本計画の改定について

- 平成18年12月に制定された観光立国推進基本法では、政府は、観光立国の実現に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、観光立国推進基本計画を策定する旨規定(閣議決定・国会報告が必要)。
- 現在の観光立国推進計画(平成19年6月29日閣議決定)は、5年間を見通したものであるが、観光をめぐる情勢の変化等を踏まえ、おおむね3年後(平成22年6月)を目途に見直しを行うものと明記。
- 国土交通省成長戦略等も踏まえ、政府を挙げて観光立国を実現するための道筋を明らかにするものとして、観光立国推進基本計画を改定し、春頃の閣議決定を目指す。

## 観光立国の実現のための基本的な目標(現在)

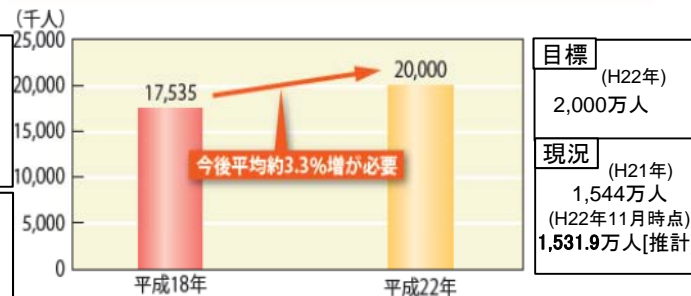
### ○訪日外国人旅行者数

平成22年までに1,000万人にし、将来的には、日本人の海外旅行者数と同程度にする



### ○日本人の海外旅行者数

平成22年までに2,000万人にする



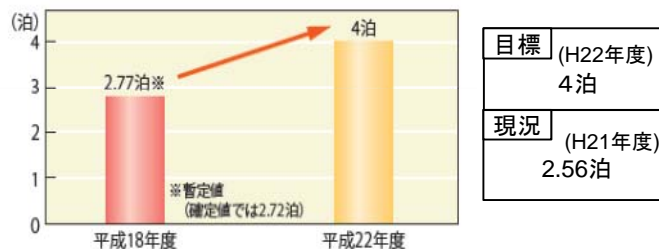
### ○国内における観光旅行消費額

平成22年度までに30兆円にする



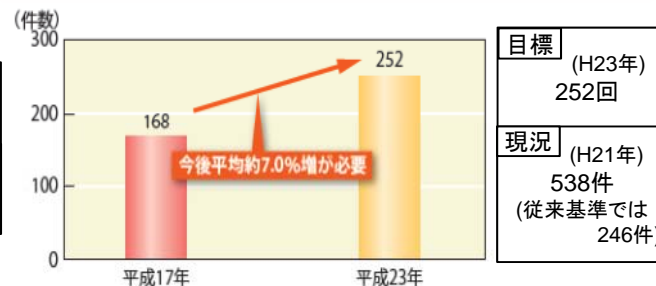
### ○日本人の国内観光旅行による1人当たりの宿泊数

平成22年度までに年間4泊にする

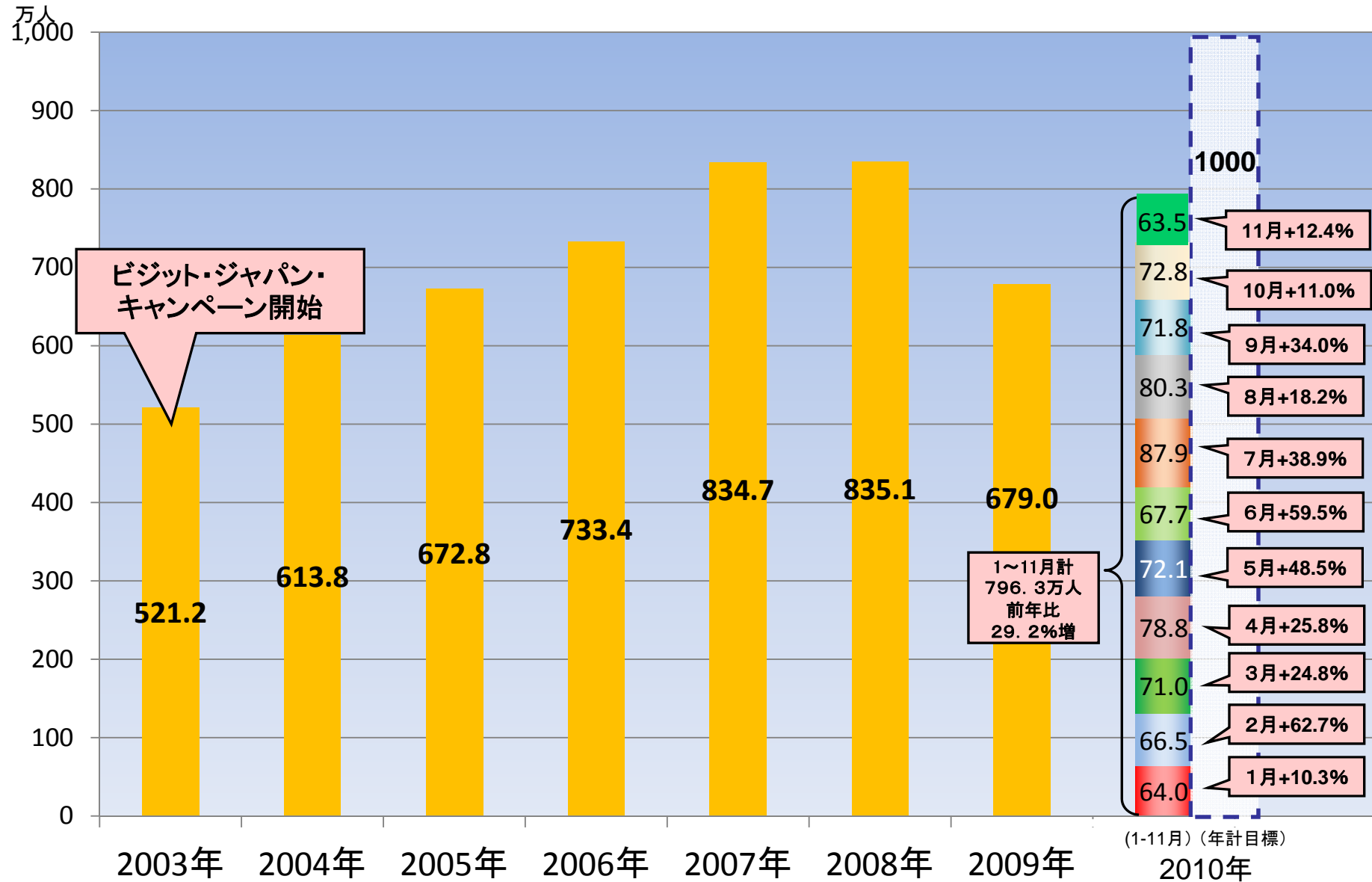


### ○我が国における国際会議の開催件数

平成23年までに5割以上増やす



# 1. 訪日外国人旅行者数の推移

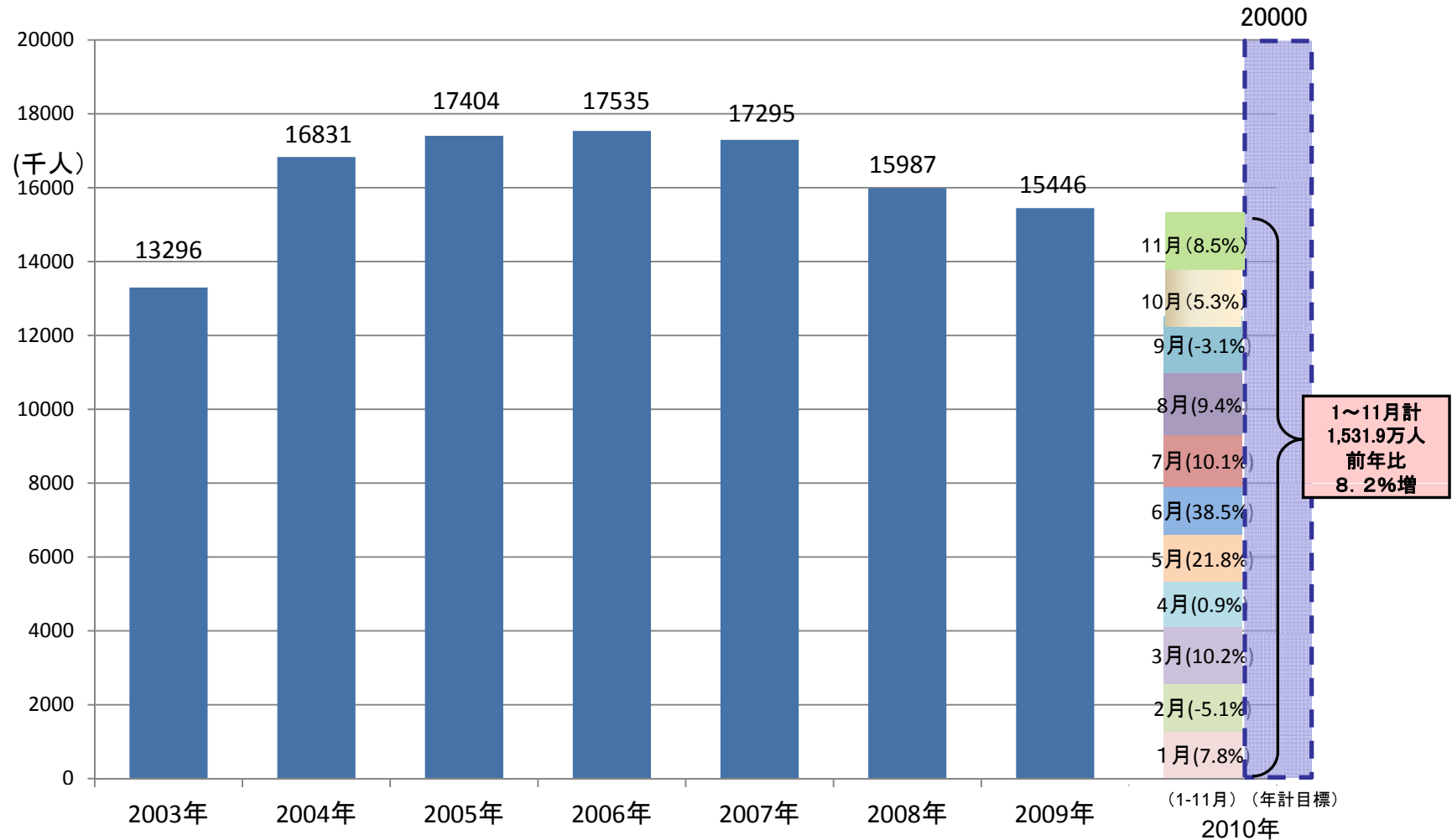


出所: JNTO (日本政府観光局)

注) 2010年1~7月の値は暫定値、8、9月の値は推計値、%は対前年同月比 -2-

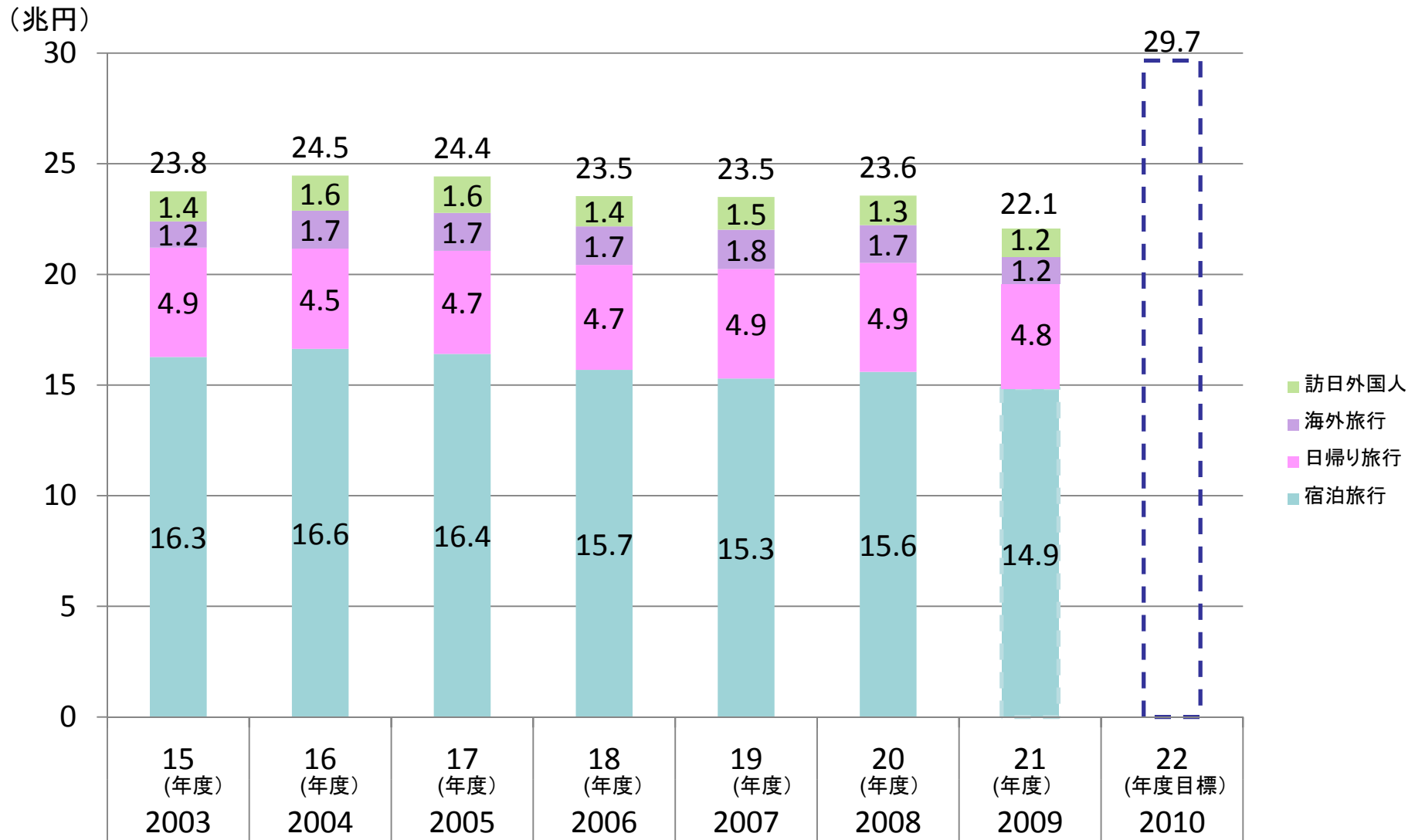
## 2. 日本人海外旅行者数の推移

○2000年までは、我が国の海外旅行者数は右肩上がりに伸びていったが、それ以降、9.11(2001年)、SARS(2003年)といったマイナス要因が立て続けに発生し、これまでにない落ち込みをみせた。  
○2004年からは、回復基調に転じ、ようやく2006年に1,754万人となったが、2007年以降減少に転じている。



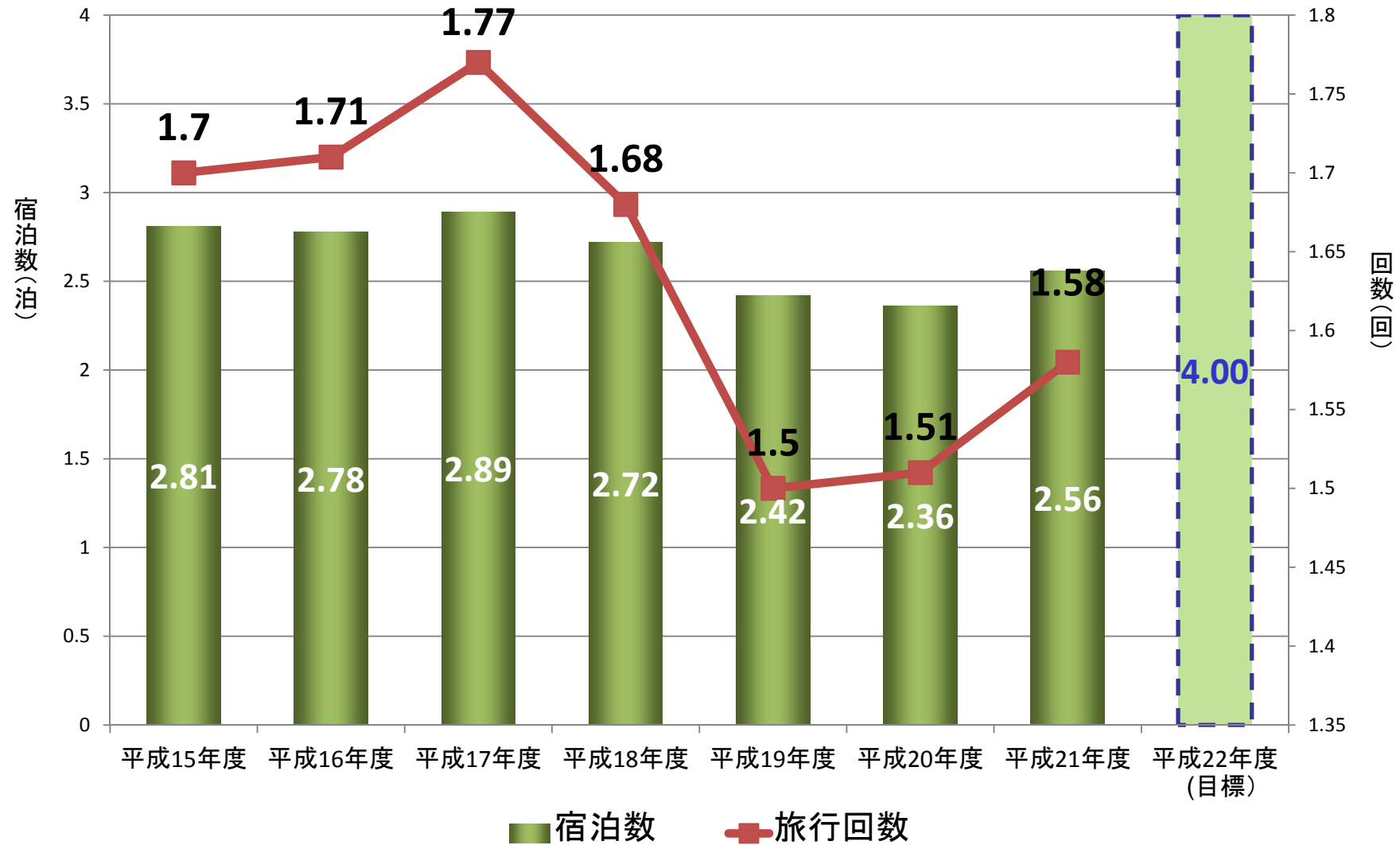
# 3. 国内における旅行消費額の推移

○ 国内の日帰り旅行が微増傾向にある以外は、横ばいもしくは減少傾向。



出典: 国土交通省観光庁「旅行・観光消費動向調査」による。

# 4. 国民1人当たり国内宿泊観光旅行の回数及び宿泊数の推移

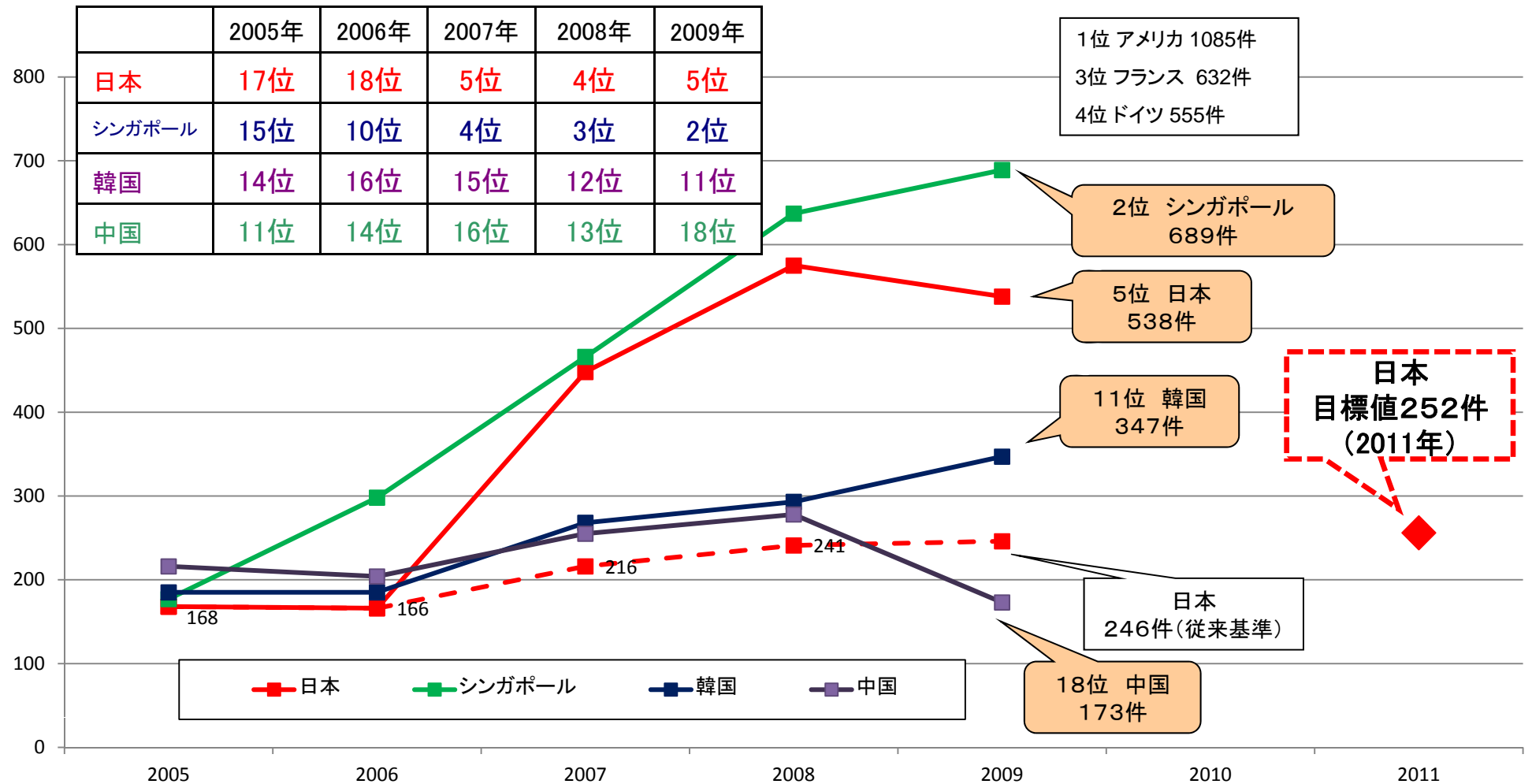


出典:国土交通省観光庁「旅行・観光消費動向調査」による。

# 5. 国際会議の開催件数の推移


※ 2011年までに、主要な国際会議の開催件数を5割増(2005年の168件を2011年には252件)を目指す。  
 (観光立国推進基本計画に定められた目標値)

※ 2007年にUIA(国際団体連合、Union of International Associations)基準の適用を緩和したことにより、  
 国際会議の開催件数は増加している。



出典: UIA統計

# 観光立国推進基本計画改定のスケジュール(想定)

平成22年 (2010年)	11月	<b>【交通政策審議会観光分科会(第1回)】</b> ・基本計画改定につき大臣から諮問 ・現行基本計画のフォローアップ ・今後の進め方(スケジュール)の確認	
	12月		
平成23年 (2011年)	1月		
	2月	<b>【交通政策審議会観光分科会(第2回)】</b> ・基本的な目標 ・スケルトン(案)	
	3月	<b>【交通政策審議会観光分科会(第3回)】</b> ・改定基本計画(案)につき議論	業界・自治体等から適宜要望を受付
	4月		パブリックコメント
	5月	<b>【交通政策審議会観光分科会(第4回)】</b> ・基本法に基づく意見聴取手続 ・改定基本計画(案)の了承	
		 <b>閣議決定・通常国会へ報告</b>	